

# 声楽アンサンブル実習第 26 回定期演奏会

2020 年 10 月 30 日 (金) 19:00 開演 (18:30 開場)

洗足学園音楽大学 前田ホール

## 【プログラム】

G. カリッシミ作曲/イエフタ

*Giacomo Carissimi (1605-1674) / Jephthe*

Jephthe・・・川崎 宇鷹

Filia・・・木内 育美

～休憩～

G. フォーレ作曲/レクイエム Op.48

*Gabriel Fauré (1845-1924) / Requiem, Op. 48*

1. Introït et Kyrie

2. Offertoire

3. Sanctus

4. Arie Pie Jesu

5. Agnus Dei

6. Libera me

7. In paradisum

Soprano Solo・・・春日 杏

Baritone Solo・・・奥 大樹

## △新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

## ～ごあいさつ～

本日は声楽アンサンブル第26回定期演奏会にお出かけくださりまして、ありがとうございました。

この演奏会は声楽コースのアンサンブル実習の授業成果発表として、毎年霊南坂教会にて公演させて頂いておりましたが、今年度はコロナ禍の中で、前期のオンライン授業を経て始まりました後期対面授業でも、ハイブリッド型でオンラインと併用しつつ練習を重ね、本日の前田ホールでの本番を迎える事が出来ました。

この様な中での声楽アンサンブルの実施ですが、十分な感染予防対策をとりつつ、学生達の音楽の響き合う力を信じて前へ進んで参りたいと思います。

演奏させて頂く喜びに溢れた学生達の姿を、どうぞ最後までご覧頂きますよう、お願い申し上げます。

洗足学園音楽声楽コース  
アカデミック・プロデューサー 塩田 美奈子

## ～PROGRAM NOTES～

### ■ G.カリッシミ／イエフタ

『イエフタ Jephthé』(1648) はイタリアの作曲家ジャコモ・カリッシミ Giacomo Carissimi (1605～1674) によって作曲されオラトリオである。カリッシミはローマのドイツ人神学校付属教会の楽長として生涯を過ごし、数多くの宗教曲やカンタータなどを作曲した。

彼の最高傑作とも称される『イエフタ』は、旧約聖書の士師記によるイエフタ（エフタ）の話を題材にしている。イスラエルの士師イエフタは敵のアンモン人との戦いに赴くが、その際に「この戦いに勝利し無事に帰宅できた暁には、自分の家から最初に出てきた者を生贄としてささげる」ことを神に誓う。そして彼は無事アンモン人との戦いに勝利し凱旋するが、イエフタが家へ着くと最初に彼を出迎えたのは彼の一人娘であった…。娘はイエフタの神との約束を知り、自分の悲しい運命を嘆くのであった。

音楽は主にヒストリクスと呼ばれる語り手と、イエフタ、そして彼の娘を中心に進んでいき、全体を通し通奏低音のみで構成されている。

### ■ G.フォーレ作曲/レクイエム Op.48

ガブリエル・フォーレはフランス独自の近代音楽が発展する礎を築いた重要な作曲家である。歌曲や室内楽から管弦楽まで幅広いジャンルで作品を残したが、同世代のビゼーやサン＝サーンスがオペラや交響曲など、大編成の作品を得意としていたのに比べると、あくまでフォーレの創作活動の中心は小編成の作品に向いていた。現在、大オーケストラで演奏されるこのレクイエムも、元々はヴィオラ、チェロ、コントラバスの弦楽（独奏ヴァイオリンを含む）とオルガン、ハーブを中心とした小編成のもので、フォーレ自身が後年、手を加えて編成を拡張していった。その結果、現在では幾つかの版が残されているが、どれも弦楽器の使用法が非常に特徴的で、通常のオーケストラに比べるとヴァイオリンの役割が非常に低く、ヴィオラとチェロが2部ずつに分かれ常に中心となり、全体にくすんだ響きを醸し出している。

今回の編成はフォーレ自身によるものではなく、管楽器が加わった1893年版よりパートを抜き出し、室内楽用にアレンジし直したものである。

## 洗足学園音楽大学声楽アンサンブル実習履修生

学部2年 荒 理緒奈 奥山 雅子 岸 佳那子 佐々木 遥 菅原 智里  
高岡 未侑 立田 紗音理 中村 美涼 宮根 千翔

学部3年 秋本 花 稲葉 みのり 上原 愛美 奥 大樹 川崎 宇鷹  
作間 優奈 新澤 彩香 前川 乃慧 松本 明音 三澤 悠華  
安井 円香

学部4年 浅谷 里美 小口 ミユキ 春日 杏 上荒磯 佐和 河島 綾音  
木内 育美 玉木 優香 廣瀬 歌乃

賛助出演 芳村 早紀子(専攻科) 河内山 魁莉(専攻科) 白石 渉(専攻科)  
伊藤 太一郎(音教3年) 関沢 茂樹(音教3年)

演奏補助要員 村田 耕太郎 服部 聖人

## 洗足学園音楽大学声楽アンサンブル実習合奏団

Concertmistress 林 桃子(院2)

Violin/Viola 有福 佑依(院2)

Cello 大友 美侑<sup>♪</sup>

Harp 大隅 レオナ(学4)

Organ 上蘭 未佳<sup>#</sup>

Tiorba 金子 浩<sup>#</sup>

## アンサンブル実習 担当指導教員

《声楽指導》

加来 徹(講師) 染谷 熱子(講師) 馬場由香(講師)

福島 康晴(講師) 上蘭 未佳(講師)

《ピアノ》

竹崎 聡子(院2) 森合 爽子(院2) 富田 愛佳(演奏補助要員)

<sup>#</sup>…教員

<sup>♪</sup>…演奏補助要員

## ～PROFILE～

### 福島 康晴 (ふくしま やすはる)

東京音楽大学大学院作曲科修了後、バロック音楽に傾倒し声楽を牧野正人氏に師事。その後ミラノ市立音楽院古楽科にてD. フラテッリ氏の下でルネッサンスのポリフォニーを学ぶ。同時に指揮科にも在籍し、R.リヴォルタ氏に師事する。帰国後、テノールとして日本の主要な古楽団体と共演するほか、自ら古楽アンサンブル《エクス・ノーヴォ》を立ち上げ指揮活動を行っている。また、16～17世紀イタリアの音楽理論に精通し、セミナーや講習会などで講演も行っている。

### 上蘭 未佳 (うえその みか)

洗足学園大学音楽学部ピアノ科を優秀賞で卒業。同大学専攻科音楽学修了。その後、渡仏。ストラスブール国立音楽院チェンバロ科を首席で卒業。帰国後、ソロ、通奏低音奏者として演奏活動、後進の指導に当たる。洗足学園音楽大学、東海大学非常勤講師。

<http://mikau.jp>

自然と花とチェンバロのYouTubeチャンネル開設中。

[https://www.youtube.com/channel/UCtxsq1NNROYhRNZbEyge4dA?view\\_as=subscriber](https://www.youtube.com/channel/UCtxsq1NNROYhRNZbEyge4dA?view_as=subscriber)

### 金子 浩 (かねこ ひろし)

桐朋学園大学古楽器科卒業。オランダのデン・ハーグ王立音楽院リュート科教師ディプロマ及びソリスト・ディプロマを得て卒業。ブルージュ国際古楽コンクール入選。NHKテレビ、ラジオ等に出演。2014年、エーベックス・クラシックスよりソロ・アルバムCD「ハートランド」リュートで聴く名曲集が再版される。その他の古楽演奏家とのレコーディングも多い。上野学園大学及び洗足学園音楽大学非常勤講師。